

令和4年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	小松市民レガッタ	事業経緯	継 続	実施体制	後 援	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

石川県小松市の梯川にあるレガッタ場は、主に高校のレガッタ活動や市民の散歩などに利用されている。

本事業は昭和58年から毎年、8月の第1日曜日に開催。競技は市民体育大会のオープン競技として位置づけられ、競漕というよりも市民レガッタの名のとおりに、多くのクルーが参加できる市民の楽しみのイベントとして親しまれている。

2. 事業実施体制

主 催: 小松市ボート協会
 後 援: 国土交通省金沢河川国道事務所、(一社)北陸地域づくり協会、
 石川県ボート協会、(株)北國新聞社、(株)テレビ小松
 協 力: 小松高校ボート部、小松明峰高校ボート部、小松ローイングクラブ、
 梯川工事連絡会

3. 事業実施概要

第36回小松市民レガッタ

日 時: 令和4年9月4日(日) 8:30~13:00

場 所: 石川県小松市小島町 梯川ボートハウス 前川水域

実施概要:

- ・成年男/女、壮年男/女、経験者の5部門で競漕を実施
(距離約300m)

- ・梯川改修事業に関するパネル展示

出場者数: 34クルー(136名)

来場者数: 約250人(応援及び観戦者)

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本事業は30年以上にわたって開催され、毎回50組程度の出場を得ており、特に河川改修により整備された広い水域での開催となってからは、3レーンでのレース運営や観戦者がコース全体を見渡せるようになるなど盛況を博してきた。河川を身近に感じられる取り組みとして市民に広く浸透していたが、コロナ禍等の理由から4年間開催が見送られ、大会の復活を望む声が聞かれていた。

ボート愛好者はもとより、初心者への参加も多く、市民同士幅広い交流が図られるとともに、河川愛護精神の啓発・普及にも大いに貢献している。



開会式



梯川改修事業パネル展示



競漕の様子